

 フォルダ



ファイル名:

ファイルの種類:

保存形式 (*.form)



保存しない(N)



保存する(S)

キャンセル

忘れているのではない。
同じ形では残っていないだけだ。

出来事は、理解として終わる。
それとは別に、反応として残る。

それは未練ではない。
引きずっているわけでもない。

思い出しているわけでも、
まだ許せていないわけでもない。

出来事としては終わっている。
説明もできる。

けれど、ある瞬間だけ、
同じ反応が出る。

理由は、もう必要ないはずなのに。

出来事は、二つのかたちで残る。

ひとつは、理解として。
もうひとつは、反応として。

理解は、時間の中で処理される。
前後が与えられ、意味になり、やがて過去になる。

反応は、時間を持たない。
ただ、そのまま残る。

呼吸の浅さ、
身体のこわばり、
距離の取り方。

それらは記憶ではない。
出来事のあとに残った、反応のかたちだ。

身体は出来事を覚えていない。
変わった反応だけを、そのまま持ち続けている。

だから、忘れていることと、
反応することは矛盾しない。

頭では終わっている。
けれど身体は、同じ反応を出す。

過去として処理されたものと、
現在として残っているものが、同時にある。

思い出していなくても、
同じ状況に触れると、同じ反応が出る。

そこに理由はない。
それでも、同じかたちが繰り返される。



*無題 - メモ帳



ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

残っているのは、記憶ではない。
反応だけが、続いている。

Edition — 存在の芯
別景：保存形式

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026